審判レポート

氏名	小金澤光司（神奈川）	担当業務	スイムチーフ

※スイムチーム（5人）：小金澤光司C（神奈川）、宮城信隆SC（神奈川）、陣川学士（神奈川）、中川圭介（千葉）、今井英大（埼

報告事項

●事前の問題点（不備・設営など）	⇒左記に対する対応
※はじめに コロナ禍での日本選手権大会が成功裏に終了した。通常TO業務に加え、コロナ感染症防止対策に関して気づいた事を記載する	
【競技運営】 1.コースレイアウト スタートポンツーン前の岩や海上固定ブイなどがなく、昨年度までのコースレイアウトと比較しベターであった（写真1）	但し、シーリアマンション群に近くなっているので、マリンジェット騒音などには配慮が必要
2. マリンミーティング (1)女子試泳開始15分前のミーティング開始であり、海上監視方法や配置に関してディスカスする時間がなかった (2)やむなくホワイトボード（写真2）を用いて短時間で配置説明した	マリンミーティング前日開催が望ましい。ライフセーバーに加え、海上報道担当（NHK）の同席を求めたい
3. 目印ピンク色円錐ブイ (1)試泳後の選手からピンクブイ（写真3）を回るのかとの問合せあり昨年までは2周回目印に使用したが、今回は1周回のみのコース設 (2)スイムフィニッシュ地点にはエア充填式ゲートも設置済であった	1周回の場合、目印ピンク色円錐ブイは不要
4. マーキングブイ コーナ黄色ブイ3本の横に設置されたオレンジ色球形マーキングブイが競技の支障になると選手よりクレームあり	女子レース開始までに撤去対応した
5. スイム競技監視用アイパッド 選手違反行為の海上監視のため、TOがレンタルアイパッドを持ってジェットスキー乗車したが、水濡れおよび水中紛失の危険性があった	ハンドメイドで防水カバーおよび釣りひもを準備した 備品対応をお願いしたい
【コロナ対策】 選手と濃厚接触するブルーゾーンTO、その次レベルのイエローゾーンTOさらにはホワイトゾーンTOの3種のクラス分けがあったが、 矛盾する部分もあり、徹底が不十分であった（写真4）	TOのゾーニングの再度見直しを求めたい

●大会中の問題点・運営状況など	⇒左記に対する対応
【競技運営】 NHK報道艇が選手進行方向前方から撮影する位置取りであったため波が立ち、競技進行の支障になると男子選手からクレームがあった	前方ではなく側方へ待機位置を変更願い、選手からのクレームに対処した。可能であれば報道担当者にマリンミーティングに参加頂き、情報共有を行いたい
2.選手スタート後の防寒着等の撤収担当TOが2人だけで、マンパワー不足であった	伊藤CCCら5～6名で対応した。次年度担当者増員を望みたい

●次回への申し送り事項

1. マリンミーティングは海上報道担当の方含め、前日に行いたい
2. 上陸地点ピンクブイの必要性を再考願いたい
3. 海上選手違反行為監視用アイパッドの防水対策をお願いしたい
4. コロナ対策ゾーニングは区分けの再考をお願いしたい
5. スタート直後の選手防寒着撤収マンパワーは5～6人確保願いたい

審判レポート

氏名	小金澤光司	担当業務	スイムチーフ

報告事項

●写真状況	コメント

写真1　スイムコース

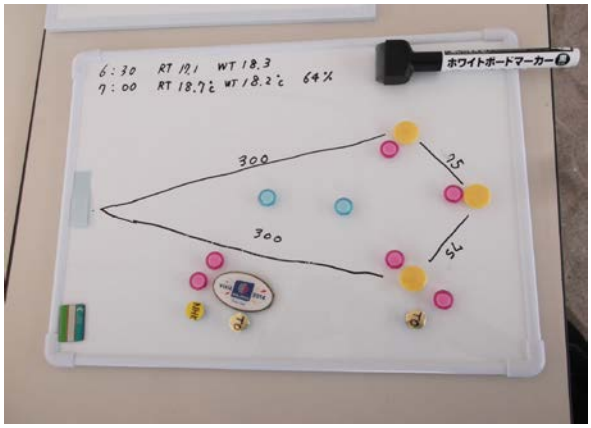

写真2　ホワイトボードによる説明

写真3　スイムアップ地点

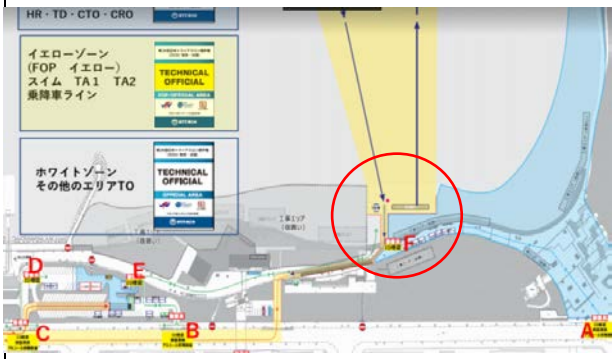

写真4　スイムエリアゾーニング